



「水害に備えて」の出前授業(5年)

12月2日(火)3・4時間目、5年生が「水害への備えと早めの避難」についての防災学習を行いました。ゲストティチャーとして、徳島県県土整備部砂防防災課の4名をお招きました。

担当の方からは、「自分の命は自分で守るために、どのようなことができるか」というお話をしていただきました。

最初に、「水害について知ろう!」というお話がありました。過去に徳島県で発生したはんらん被害について写真を見ながら説明してくださいました。その写真の中には、平成23年の台風15号により山際から吉野川堤防までの広い範囲が水没したために、川島小学校付近が被害を受けた様子についても説明してくださいました。5年生の子どもたちは、川島町という身近な場所での水害なので真剣に聞いていました。そして、川島町付近のハザードマップにより浸水しやすい場所について確認したり、VRを使って水害の様子についても体験したりしました。

水害の種類として、①土砂災害②洪水③高潮④内水はんらん⑤外水はんらんがあることを教えていただきました。その後、「内水はんらん」と「外水はんらん」について、模型を使って、実際に水を流してどのように水害が発生するのかについての実験をしました。また、安全な避難のための行動として、6つの班ごとに分かれて「ファミリータイムライン」という避難のタイミングを考えるワークショップを行いました。

最後に、「災害に備えて、準備しておくもの!」についてのお話がありました。

〈水害から大切な自分の命を守るためのポイント〉

- ① ハザードマップを見て、水害の危険を確認しよう。
- ② ハザードマップを見て、自分の家や学校の場所を確認しよう。
- ③ ハザードマップを見ながら、避難の方法を家族で話し合おう。
- ④ 避難のタイミングを考えよう。
 - ・大雨が降ってきたとき(新しい情報を確認し、避難の準備)
<※すだちくんメールや「安心とくしま」の防災情報の活用>
 - ・避難するときの注意(明るいうちに、家族や大人と一緒に、安全な場所へ逃げる。)
 - ・浸水している道は注意
 - ・避難場所へ行けないととき(無理をせず、家の高い部屋など安全な場所に移動する。)



〈水害の説明を聞いている様子〉

〈模型を使って水害の実験〉



〈VRによる映像と
音声の説明を使った体験学習〉

〈ファミリータイムラインの作成〉